

仙塩総合病院 です。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当院は、一般病棟、地域包括ケア病棟、療養型病棟を有する病院です。
- ・理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士1名、助手2名在籍しています。
- ・入院、外来の患者様のリハビリテーションを行っています。入院は自宅復帰を目指す方はもちろん、長期療養が必要な方も対象です。外来は痛みをとりたい、〇〇ができるようになりたいなど、具体的な目標を設定し、適切なリハビリテーションプログラムを提供しています。他職種間で連携し、患者様がその人らしく暮らしていけるような支援に努めています。
- ・骨折、変形性関節症や椎間板ヘルニア、手外科などの整形外科疾患、脳卒中、難病、肺炎や尿路感染症などの内科疾患等、幅広い疾患の患者様が対象です。



リハビリテーション室のスタッフ



リハビリテーション室

<リハビリテーションに関する連絡先>

医療法人 寶樹会 仙塩総合病院

住所：〒985-0842 多賀城市桜木2丁目1-1

電話：022-367-4111

塩釜
地区

リハビリネットワーク通信 第24号

(平成31年1月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

Q. 12月より新たに言語聴覚士がリハビリテーションスタッフとして加わるとお聞きしましたが、言語聴覚士の介入によって期待できる患者様への効果を教えてください。
(仙塩利府病院)

A. 言語聴覚士は、コミュニケーションや食事へのアプローチを主に行います。失語症や構音障害など、コミュニケーションが困難になった患者様へのリハビリや、嚥下機能が低下して食物の飲み込みが困難になった患者様に対して、専門的な評価・訓練を行っていきます。患者様の大きな楽しみである“会話”“食事”が円滑に行えるよう支援していきます。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：仙塩訪問看護ステーション
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. 訪問看護ステーション内でのリハビリテーション部門の開設から5年になり、軌道に乗り、御発展してきたことと思います。今後のさらなる抱負を教えてください。

リハビリ川柳

「ごっくん」に 合わせて自分も 空嚥下 (言語聴覚士)

【解説】食事場面の観察や訓練時に患者様の飲み込みに合わせて、自分も思わず空嚥下(唾を飲み込む)してしまう様子を表現しました。

「氣になるなあ テレビの中の 長い杖」(理学療法士)

【解説】テレビを観ていると杖を使っている人が映ることがあります。「合っていないな。」などと、ついつい高さをみてしまうのは職業病ですね。

「パチンコは 趣味じゃないの 仕事なの」(作業療法士)

【解説】患者さんの言葉です。患者さんにとっての大切な作業であるパチンコについてよく聞くと、趣味ではなく本気でした。その作業に対しての価値観、考え方をきちんと確認することは大事だと、改めて感じました。